

# なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



どうして園では  
ハロウィンは  
しないの？

みなさんはハロウィンと聞いたら何が頭に浮かびますか？

仮装（変装）をする、お菓子がもらえる、かぼちゃのおぼけなど、なんだか楽しそうですね。

先生は、外国のまねをしてお祭り騒ぎをするというイメージがあります。

ではいったいハロウィンって何なの？？？調べてみることにしました。

今から2000年以上も前にケルト人というヨーロッパで暮らしていた人たちの秋の収穫のお祝い（食べものがたくさん採れてありがとうと感謝する日）が起源。そこでは、10月31日が一年の終わりとされていました。

この日の夜には、亡くなった人たちが家族に会いに来ると信じられていました。しかし、それと一緒に悪霊や魔女（簡単に言えば悪いおぼけ）がやってきて作物を荒らしたり、子どもを連れ去ったりといたずらをする恐れられていた日でもありました。

そこで、悪いおぼけや魔女と同じ格好をして襲われないようにしたり、追い払うために怖い顔のおぼけかぼちゃ（元々はカブだった）を作り、家の外に置いていました。

また、お菓子をもらって歩くのは、お祭り用の食べ物もらって歩く様子をまねしたもので、昔のなごりだそうです。悪いおぼけたちに「お菓子をあげるから帰ってください」という意味もあるようです。

この風習が、やがてヨーロッパ中、アメリカに広がり今日のお祭りへと変化していったようです。

今日の日本では、おぼけかぼちゃを作って飾ったり、お菓子を子どもに配ったり、仮装して楽しんだりとそれぞれを楽しむ人も増えてきたようですが、仏教には関係しないので幼稚園や保育園では行事としてはしていません。

ですが、このように一つ一つの行事に意味があることを知り、感謝の心や、亡くなった人を偲ぶという気持ちは大切ですね。